

学校経営方針をどのように示す必要があるか

学校の課題を明確に焦点化して示す。

- ・何を重点に今年度は推進（解決）しようとするのか。
- ・どのような方法で推進（解決）しようとするのか。
- ・組織をどのように活用するのか。

伝える対象に応じて示し方を工夫する。（教員・保護者等）

- ・対象に応じた言葉を用いる。
- ・わかりやすく、平易な表現を心がける。

学校評価システムを機能させていく組織をどのようにするか

推進計画の作成 教頭・主幹（主任）

実施計画の作成 担当

評価項目・評価基準の作成 【 】

評価結果の集約、分析 【 】

課題の整理、改善案の作成 【 】

- ・学校の実態に応じ、組織編成を工夫する。
- ・地域との窓口を分掌化することも必要になってくる。

学校評価のポイント

学校経営方針を踏まえ、評価項目・評価基準を決定し、提示する。

- ・評価項目の重点化を図る。
- ・年度当初に提示する。

内容に応じて学校評価の時期を決定する。

- ・何を、いつ評価するか。

取組の経過について随時、説明・公開していく。（経過説明）

- ・学校公開等を通して、取組状況を積極的に説明・公開していく。
- ・随時評価できるものは評価し、改善を図っていく。

学校評価は公開を前提として実施する。（結果説明）

- ・何を公開するか。いつ、どのように公開するか。

評価結果をもとに成果と課題を明らかにする。（可能なものは数値で示す）

- ・何が、どの程度、推進（解決）できたか。

教育委員会の支援

人事面の支援

- ・学校改善の視点から学校経営方針に基づく人事構想の実現に向け、支援する。

予算面の支援

- ・特色ある学校経営や教育課程の実現に向け、校長の裁量に基づく予算執行の在り方を整備する。

情報面の支援

- ・校長の判断の参考となる国や都の動向等に関する教育情報の提供に努める。
- ・各学校の特色やよさを地域・保護者に積極的に発信していく。